

九段高校菊友会講演

(概要)

『宇宙の扉を開こう - 球は転々宇宙間 - 』

知的な活動を営む「ヒト」は、現在 77 億人を数え、累積では 1150 億人に達するとも言われます。その中で、地球から離れ宇宙に達したヒト/宇宙飛行士は 569 人で、まことに稀な人類活動と言えます。1961 年のロシア宇宙飛行士ガガーリンの初フライトから、あるものは月面を踏み、あるものは1年の長きに渡り宇宙空間に滞在し、地上の我々に様々な知見をもたらし、驚かし続けています。彼らの活動は、人類の知性のフロンティアを連綿と拡大して来たとも言えます。そして、次の探査の目的地は月とも火星とか、専門的な訓練を受けていない一般人も宇宙に行くと、伝えられています。

これから、宇宙空間で何が起きるのか、日本の役割はどうなるのか、期待を込めて展望します。

I. 宇宙感

- 宇宙
- 身近な宇宙

II. 様々な宇宙活動

- 宇宙に行くための推進系
- 宇宙から地球を観る地球観測
- 奥深い宇宙を観る天体観測
- 人が宇宙に住む有人宇宙活動

III. 我々と宇宙の繋がり

- 宇宙の視座で
- 自分の宇宙を

(略歴)

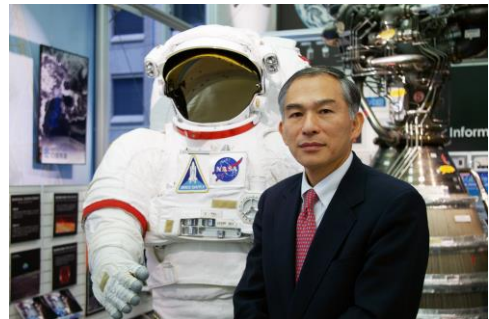
1951 年 東京に生まれる。

1970 年 九段高校卒業。

1977 年 早稲田大学大学院物理学修士課程を終了。宇宙開発事業団(NASDA、JAXA の前身)に入社し、エンジン開発グループに配属され、H-1 ロケット 2 段エンジン「LE-5」の開発に従事。

1986 年 米国留学後、科学技術庁宇宙基地推進室に出向。

1988 年 NASDA 宇宙実験グループに戻り、航空機や小型ロケットを用いた微小重力



実験システムの開発や、NASA スペースシャトルを利用した宇宙実験に参画。

1998年 米国ヒューストンに駐在。

2001年 日本に帰任後、国際宇宙ステーション/日本実験棟組立に携わる搭乗員養成・訓練システムの開発。

2008年 宇宙飛行士の選抜・訓練に従事。

2010年 情報システム部に異動、広報部を兼務。

2017年 JAXA 社友、Koshoya2020 代表

(著書)

『なぜ、人は宇宙をめざすのか』(共著 「宇宙の人間学」研究会編 誠文堂新光社)

『宇宙飛行士という仕事』(中央公論新社)

『宇宙飛行士に聞いてみた!』(監修 日本文芸社)

『Space Shuttle 写真集』(監修 玄光社)